

第78期
業務のご報告

令和4年4月1日～令和5年3月31日



このまちの夢がきこえる

水戸信用金庫

ごあいさつ

向暑の季節を迎え会員の皆様には、
ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。
ここに第78期の業務のご報告を兼ね、
ごあいさつを申し上げます。



水戸信用金庫 理事長
飯村次男

経済・金融情勢

令和4年度の景気動向は、ウクライナ情勢や為替の動向に伴うエネルギーや食料品、耐久消費財などの物価上昇により企業活動や家計は大きな影響を受けましたが、コロナ禍からの社会経済活動の回復が進み、個人消費を中心に持ち直しの動きが見られました。

金融情勢については、日本銀行が長期金利の変動容認幅を拡大したことで金融政策変更への期待が高まり、長期金利は一時0.50%を超える上昇を見せましたが、その後、日本銀行が金融緩和政策の維持を表明したことで低下に転じました。日経平均株価は、ウクライナ情勢を受けた資源や穀物の供給不安に加え、円安の進行に伴い物価が上昇したことから一時2万5千円台まで下落しましたが、新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限の解除が進捗するとともに上昇して終了しました。

今後は、当面の間は物価上昇の影響を一定程度受けると見えています。また、世界的なインフレを抑制するための各国の金融政策の動きや景気動向にも注意が必要です。しかし、今後、為替動向が落ち着くとともに物価が安定に向かうこと、個人消費の持ち直しや海外からのインバウンド需要が本格化すること、政府による経済対策の効果が期待されること等により、経済活動全体が回復に向かうものと見られます。

業績

預金は、新型コロナウイルス感染症の度重なる感染拡大に伴う先行きへの警戒感などから手元現預金を多めに保有しようとする動きが見られ、個人のお客さまを中心に増加し、期末残高は1兆1,882億円(前期比+111億円、+0.94%)となりました。

貸出金は、事業を営むお客さまを中心に新型コロナウイルス感染症に対応した制度融資等の活用による資金繰り支援に取り組むとともに住宅ローン等個人向け消費性資金にも積極的に取り組んだことにより、期末残高は、4,595億円(前期比+10億円、+0.22%)となりました。

損益については、貸出金残高は増加したものの、利回りの低下が影響し貸出金利息収入が減少したこと、有価証券利息配当金や償却債権取立益が減少したこと等により、経常収益は146億円(前期比△9億円、△5.79%)となりました。また、業務の効率化や物件費の削減努力、職員数の減少等により経費が減少したこと、業況悪化先の減少に伴い貸倒リスクに備えるための引当金の積み増しが減少したこと等により、経常費用は124億円(同△20億円、△14.14%)となりました。

その結果、経常利益は22億円(前期比+11億円、+102.43%)、当期純利益は21億円(前期比+10億円、+96.22%)となりました。

事業方針

当金庫は、令和2年度より「中期経営計画2022～みとしんの未来を創る3カ年～」をスタートさせ令和4年度に最終年度を迎えました。

中期経営計画2022では、目指すべき金庫像の実現を目指し、4つの基本戦略に基づいた施策に取り組んでまいりました。

特に令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の度重なる感染拡大により大きな影響を受けているお客さまや、資源価格、仕入価格の上昇により影響を受けているお客さまへの支援に力を入れてまいりました。

今後、経済活動全体は回復に向かうものと見えています。しかし、輸入価格、資源価格の上昇や人手不足、世界的な景気先行きへの不透明感など、懸念は多くの面で見られます。そのような中、当金庫は対話を通してお客さま一人ひとりに寄り添い課題を把握し、解決に向けた適切な商品、サービスをご提案する等、お客さまへのサポートを進めてまいります。

【中期経営計画2022(令和2年度～令和4年度)の概要】

目指すべき金庫像

「お客さまと共に考え、共に行動し、共に成長することにより、お客さまと喜びを分かち合い、お客さまから揺るぎない信頼と支持を得る。」

4つの基本戦略

- I. 真のお客さま志向の実現に向けた営業体制を構築する
- II. 将来にわたる安定経営を目指して持続可能かつ強固な経営体質を構築する
- III. 経営環境の変化に柔軟に対応できる人財の育成に取り組む
- IV. 内部管理態勢および法令等遵守態勢の強化を図る

事業の展望

当金庫は、令和5年度から新たに「中期経営計画2025明日へのサイン」をスタートいたしました。時代の変化に対応する《新たなみとしん》を創造するための「革新」をテーマに、お客さまとの確かなつながりという強みを最大限に発揮しながら、豊かな地域を実現していくビジョンを描いております。このビジョンを実現するため、お客さまと接する人財を確保・育成していくこと、性別や年齢を問わずすべての職員が活躍できること、IT技術を活用した信用金庫業務の最適化等により持続可能な経営基盤を構築することを基本戦略として盛り込みました。

そして、お客さまにとって、もっとも身近な金融機関として、地域のお客さま一人ひとりに寄り添い、「お客さまと共に考え、共に行動し、共に成長することにより、お客さまと喜びを分かち合い、お客さまから揺るぎない信頼と支持を得る。」という目指すべき金庫像の実現に向け、役職員が一丸となって取り組んでまいります。

貸借対照表

第78期末 令和5年3月31日現在

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)	百万円	(負債の部)	百万円
現金	10,533	預金積金	1,188,291
預け金	370,702	当座預金	8,088
買入金銭債権	12,475	普通預金	530,363
金銭の信託	1,252	貯蓄預金	1,892
有価証券	374,935	通知預金	2,867
国債	20,003	定期預金	627,328
地方債	136,799	定期積金	12,890
社債	111,085	その他の預金	4,861
株式	456	借入金	7,880
その他の証券	106,590	債券貸借取引受入担保金	13,453
貸出金	459,556	その他負債	1,624
割引手形	199	未決済為替借	274
手形貸付	34,004	未払費用	762
証書貸付	402,333	給付補填備金	3
当座貸越	23,018	前受収益	243
その他資産	8,177	払戻未済持分	38
未決済為替貸	141	リース債務	62
信金中金出資金	5,700	資産除去債務	113
未収収益	979	その他の負債	126
その他の資産	1,355	役員退職慰労引当金	21
有形固定資産	14,204	睡眠預金払戻損失引当金	46
建物	5,392	保証協会偶発損失引当金	177
土地	7,807	子会社等支援損失引当金	184
リース資産	58	旧石岡中央支店取壊費用引当金	74
その他の有形固定資産	946	債務保証	317
無形固定資産	1,782	負債の部合計	1,212,072
ソフトウェア	1,533	(純資産の部)	
その他の無形固定資産	248	出資金	11,634
前払年金費用	291	普通出資金	6,884
繰延税金資産	849	優先出資金	4,750
債務保証見返	317	資本剰余金	4,750
貸倒引当金	△13,945	資本準備金	4,750
(うち個別貸倒引当金)	△12,872	利益剰余金	22,371
		利益準備金	5,387
		その他利益剰余金	16,983
		特別積立金	13,930
		当期末処分剰余金	3,053
		会員勘定合計	38,755
		その他有価証券評価差額金	△9,694
		評価・換算差額等合計	△9,694
		純資産の部合計	29,060
資産の部合計	1,241,132	負債及び純資産の部合計	1,241,132

損益計算書

第78期 令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:千円)

科目	金額	金額
経常収益		14,657,868
■資金運用収益	12,546,163	
貸出金利息	8,575,283	
預け金利息	531,006	
有価証券利息配当金	3,231,659	
その他の受入利息	208,214	
■役務取引等収益	1,376,253	
受入為替手数料	463,849	
その他の役務取引収益	912,404	
■その他業務収益	90,888	
国債等債券売却益	4,444	
その他の業務収益	86,443	
■その他経常収益	644,562	
償却債権取立益	307,339	
株式等売却益	280,790	
金銭の信託運用益	9,437	
その他の経常収益	46,995	
経常費用		12,402,716
■資金調達費用	231,755	
預金利息	94,731	
給付補填備金繰入額	2,840	
借入金利息	133,386	
債券貸借取引支払利息	797	
■役務取引等費用	1,332,998	
支払為替手数料	43,243	
その他の役務費用	1,289,754	
■その他業務費用	110,136	
国債等債券売却損	5,314	
国債等債券償却	99,999	
その他の業務費用	4,822	
■経費	9,880,754	
人件費	5,993,852	
物件費	3,563,760	
税金	323,141	
■その他経常費用	847,072	
貸倒引当金繰入額	445,666	
貸出金償却	103,031	
株式等売却損	70,799	
株式等償却	7,510	
金銭の信託運用損	5,250	
その他資産償却	52,324	
その他の経常費用	162,489	
経常利益		2,255,151
特別利益		91,191
■その他の特別利益	91,191	
特別損失		163,771
■固定資産処分損	5,707	
■減損損失	83,263	
■その他の特別損失	74,800	
税引前当期純利益		2,182,571
法人税、住民税及び事業税	23,123	
法人税等調整額	22,570	
法人税等合計		45,693
当期純利益		2,136,878
繰越金(当期末残高)		916,241
当期末処分剰余金		3,053,119

(注)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

剰余金処分

第78期 令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

科目	金額
当期末処分剰余金	3,053,119,732

これを下記の通り処分します。

剰余金処分量	2,174,238,785
利益準備金	220,000,000
普通出資に対する配当金(年1.0%)	68,738,785
優先出資に対する配当金(年0.9%)	85,500,000
特別積立金 (うち優先出資消却積立金)	1,800,000,000 (1,800,000,000)
繰越金(当期末残高)	878,880,947

(注)優先出資に対する配当率0.9%は発行価額(95億円)に対する割合です。
(貸借対照表上の優先出資金(47億5千万円)に対する割合としては1.8%となります。)

左記の通り相違ありません。

令和5年6月

一 水戸信用金庫 一

会長	埴 由博	常勤理事	寺門 喜久夫
理事長	飯村 次男	常勤理事	助川 安弘
専務理事	竹村 秀晃	常勤理事	二瓶 義憲
専務理事	小橋 昭弘	理事	岡田 幸彦
常務理事	酒井 充	理事	武田 隆志
常勤理事	照沼 政彦		
常勤監事	廣瀬 千秋		
監事	櫻井 敏行		
監事	福田 敬士		

庶務概要

総代会

令和4年6月20日 第77期通常総代会を
ホテル・ザ・ウエストヒルズ・水戸
において開催し、下記議案を承認可決

第1号報告 第77期 業務報告・貸借対照表・
損益計算書報告の件

第1号議案 第77期 剰余金処分案承認の件

第2号議案 会員の法定脱退の件

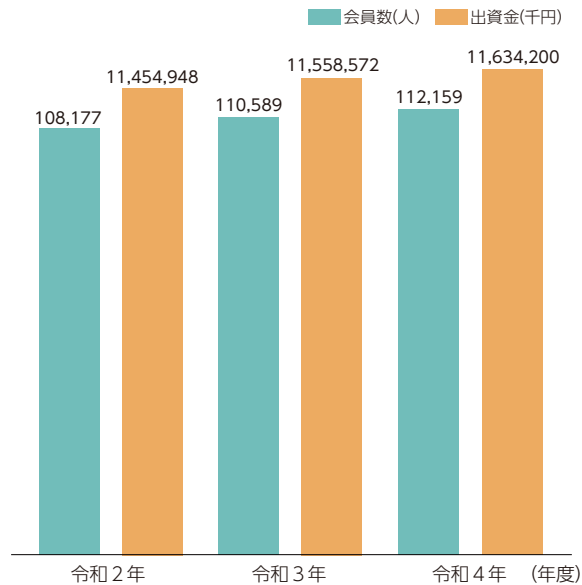
第3号議案 定款の一部変更の件

第4号議案 理事および監事
任期満了に伴う改選の件

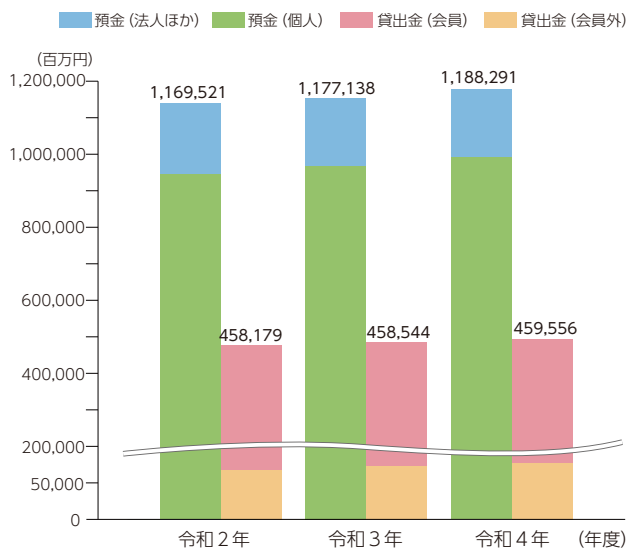
登記事項

令和4年4月7日 出資口数および出資総額の変更登記

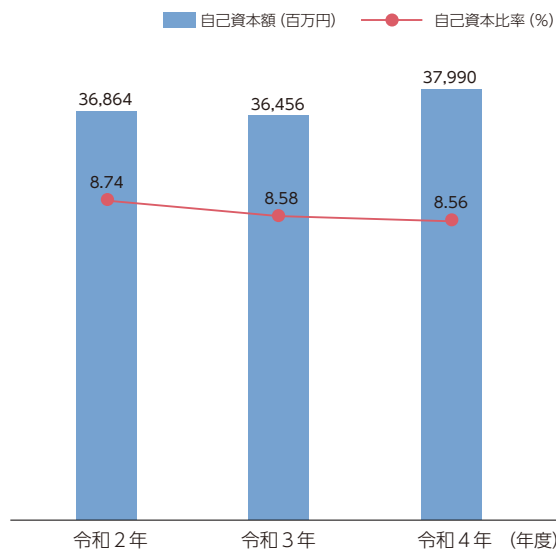
会員・出資金の推移



預金・貸出金の推移



自己資本額・自己資本比率の推移



当金庫の概要 (令和5年3月31日現在)

- 出資金 11,634百万円
- 自己資本額 37,990百万円
- 役員数 847名
- 預金 1,188,291百万円
- 貸出金 459,556百万円
- 店舗数 66店舗
- 会員数 112,159人
- 自己資本比率 8.56%